

1 令和5年度 全国学力・学習状況調査「中学校 英語」実施

令和5年4月18日（火）に令和5年度全国学力・学習状況調査が実施されました。今回の調査では中学校英語が追加され、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」のみでなく、「話すこと」の調査（ICT端末等を活用したオンラインでの音声録音方式）も実施されました。調査問題は、「知識及び技能」を測ることに加え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視して作成されています。五つの領域ごとの問題に加え、領域を統合した問題も出題されました。調査問題や解説資料は国立教育政策研究所のホームページに掲載されておりますので、授業改善に活用してみてもはいかがでしょうか。

英語 8 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

短い文章の要点を捉える問題

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題

ある話題に関して、ペアやグループで考えたことや感じたことを理由とともに伝え合い、その後に話した内容を書くような言語活動に、日頃から取り組んでみましょう。



（「令和5年度全国学力・学習状況調査解説資料 中学校英語」より一部抜粋 義務教育課で追記）

参考文献：『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語』 令和2年3月 国立教育政策研究所

国立教育政策研究所のホームページはこちらです。↓→
<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>



5月中旬に、令和4年度英語教育実施状況調査の結果が公表されました。これは、英語教育改善のための具体的な施策の状況について調査し、各教育委員会における英語教育の充実や改善に役立てるために毎年実施されているものです。各都道府県・市区町村教育委員会及び全ての公立小学校、中学校、高等学校（義務教育学校、中等教育学校を含む）が調査の対象となっています。福島県の主な調査結果は以下のとおりとなります。

1 中学3年生の英語力

中学3年でCEFR A1レベル（英検3級）相当以上を取得している（またはCEFR A1レベル相当以上の英語力を有していると思われる）生徒の割合

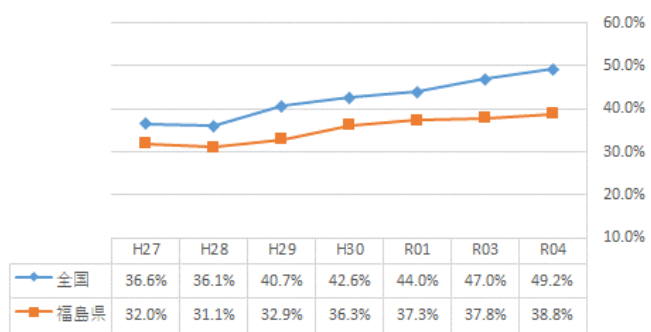
福島県：38.8%／全国：49.2%

2 英語担当教員（中学校）の英語力

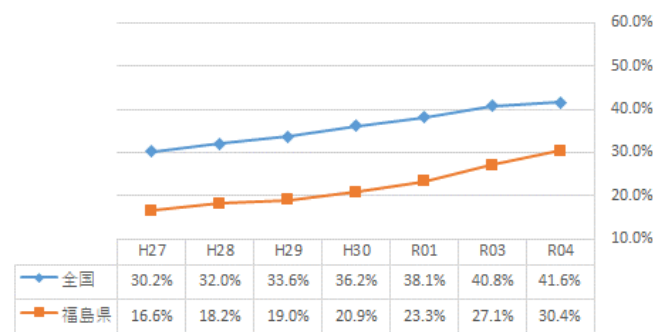
CEFR B2レベル（英検準1級）相当以上を取得している英語担当教師の割合

福島県：30.4%／全国：41.6%

生徒の英語力



教師の英語力



上のグラフのように、経年で見ると生徒と教師の英語力は年々伸びていることがわかります。（令和2年度は実施なし。）

令和4年度 福島県英語教育改善プランでは、生徒の英語力の目標値を45%、教師の英語力の目標値を30%と設定していました。教師の英語力は前回から約3ポイント上昇しました。今後も継続して英語力の向上に努めていきましょう。



また本調査では、生徒の英語力の向上には「授業における生徒の言語活動の割合」、「英語教師の英語力や発話の割合」、「ICTの活用（発表や話すことにおけるやり取りをする活動）」等が影響を与えていることが分析結果として示されました。これからの授業づくりにおいては下記のポイントを念頭に置いて、まずは取り組みやすいところから実践してみませんか。

- 生徒の英語による言語活動を増やしてみる
- 言語活動の取組でICTやALTを効果的に活用してみる
- 教師が授業で積極的に英語を使用してみる

英語教育実施状況調査結果はこちらです。↓ →
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415043_00004.htm

